論文概要の和文様式

雑誌における論文タイトル：

Better maternal quality of life in pregnancy yields better offspring respiratory outcomes: a birth cohort

和文タイトル：

母親の妊娠中のQOLが生まれてくる子どもの呼吸器関連のアウトカムをより良くする

ユニットセンター（UC）等名：　メディカルサポートセンター

サブユニットセンター（SUC）名：

発表雑誌名：　Annals of Allergy Asthma and Immunology

年：2021　DOI：　10.1016/j.anai.2021.02.019

筆頭著者名：　山本　貴和子

所属UC名：　メディカルサポートセンター

目的：

妊娠中の母親の生活の質（QOL）とうつ病が、3歳のときに子供の喘鳴、喘息、食物アレルギーを引き起こすかどうかを検討する。

方法：

すべての変数はアンケートから収集された。健康関連のQOLは、身体サマリスコア（PCS）と精神サマリスコア（MCS）のスコアをMedical Outcomes Survey Short Form-8アンケート（SF-8）から算出した。ロジスティック回帰分析を実施して、子の喘鳴、喘息、食物アレルギーと母親のQOLおよびうつ病との関連を検討した。

結果：

母親の妊娠中のQOLが低いと、子の喘鳴、喘息、食物アレルギーのリスクが高まる。さらに、母親のうつ病と不安は、子供の喘鳴、喘息、食物アレルギーのリスクを高める。

考察：（研究の限界を含める）

子の喘鳴、喘息、食物アレルギーの発症を防ぐために、妊娠中の母親のQOLとうつ病を改善するための介入戦略が必要になる。

結論：

母親の妊娠中のQOLが低いと、子の喘鳴、喘息、食物アレルギーのリスクが高まる。さらに、母親のうつ病と不安は、子供の喘鳴、喘息、食物アレルギーのリスクを高める。